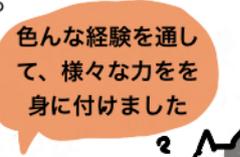


「伝える力」の絶対ルール

伝える内容 + 伝える技術

Take Action



<p>① 会話は相手中心に</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手の話をよく聞く(アクティブリスニングを身に付ける) 相手が聞きたいことを話す  <p>まずはしっかりと聞く</p>	<p>② 話し方にメリハリを</p> <ul style="list-style-type: none"> 声の大きさ・高さに変化をつける 人前では、ゆっくり話す 「間」を意識する 語尾をはっきり発音する  <p>カドゥー!! 同じ内容でも 刺さり方が 変わる!!</p>	<p>③ 伝える順番</p> <ul style="list-style-type: none"> 「結論」を最初に伝える・「結論→理由→具体例→結論」 大事なことは繰り返し伝える 伝えたい言葉は短く、繰り返す。 <p>P Point R Reason E Example P Point</p>	<p>④ 相手の目を見る</p> <ul style="list-style-type: none"> 視線の「高さ」を合わせる 人前で話すときにも一人ひとりに目を合わせる 
<p>⑤ 共感のサイン</p> <ul style="list-style-type: none"> 「相づち」と「うなづき」を 興味を示す、感情を込める。 感嘆詞+驚いたポイント  <p>うんうん びっくり</p>	<p>⑥ 具体的に話す</p> <ul style="list-style-type: none"> 数字で語る 固有名詞を入れる 「体験談」で共感、説得力を高める  <p>色んな経験を通して、 様々な力を身に付けました</p>	<p>⑦ 笑顔で会話する</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉の最後の無音の「イ」をつける「こんにちわ(イ)」「ありがとうございました(イ)」  <p>口角もあげる</p>	<p>⑧ 要点を絞る</p> <ul style="list-style-type: none"> 話の焦点(テーマ)は一つにする 「〇〇は3つあります」を口癖にする。  <p>だっ... まじまじ... ...</p>
<p>⑨ 「導入」がキモ</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手が聞いて見なくなるはなしをする・前振り、つかみ  <p>2-モア 「アワライズ」 質問 告白 引用 etc...</p>	<p>⑩ 緊張の克服は「準備」と「大声」</p> <ul style="list-style-type: none"> 徹底した「準備」が緊張を防ぐ  <p>ドキドキ 見てないネコ</p>	<p>⑪ 語彙力と伝える力は比例する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 使える語彙(ボキャブラリー、表現方法)を増やす。  <p>類語 本読んで!!</p>	<p>⑫ 「あの～」、「えっと」を使わない</p> <ul style="list-style-type: none"> 「あの～」、「えっと」を言いそうになったら口をつぐむ  <p>フロック!</p>
<p>⑬ 身振り・手ぶりを加える</p> <ul style="list-style-type: none"> プレゼンでボディランゲージ(やりすぎ禁止)・ミラーリングで波長を合わせる  <p>1番のポイント</p>	<p>⑭ ポジティブな表現をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ネガティブ言葉をポジティブな言葉に変換する  <p>独自の世界がある センスが悪い</p>	<p>⑮ 姿勢で印象が変わる。声が変わる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 話すときは背筋をまっすぐ伸ばす  <p>猫背x しゃべん</p>	<p>⑯ スピーチは「準備」が9割</p> <ul style="list-style-type: none"> 伝えたい内容を事前に整理しておく  <p>原稿 - 練習</p>
<p>⑰ スピーチや発表にキーワードのメモを持参</p> <ul style="list-style-type: none"> 冒頭だけを暗記しておくも自信をもって話させる・無駄をそぎ落としたキーワードのメモの準備  <p>key word</p>	<p>⑱ 素敵な人間関係は素敵な挨拶から</p> <ul style="list-style-type: none"> 明るく大きな声で、自分から先に声をかける  <p>おはようございます</p>	<p>⑲ 比喩・たとえ話で分かりやすくなる</p> <ul style="list-style-type: none"> 「相手が理解しているもの」に例える  <p>魚が降ってきたぐらいの感動です!!</p>	<p>⑳ 練習で、誰でも話し上手になれる・伝え上手になる</p> <ul style="list-style-type: none"> お手本を見つけて、その人の話し方を真似る  <p>あの手まねの 猫の鳴きまね</p>

参考:『話し方のベストセラー100冊』のポイントをまとめてみた。』文道 藤吉 豊、小川 真理子